

# 東播都市計画ごみ焼却場の変更について

令和5年9月15日  
三木市生活環境課

# 次期ごみ処理施設の進捗状況について(1)

## 1 基本設計（令和4年度）の概要

項目	内容
建設予定地	三木市加佐字八家王山1250他(現施設西側)
処理方式	ハイブリッド方式(メタン発酵施設+焼却施設)
施設及び処理能力	メタン発酵施設 約35 t /日(1基) 焼却施設 70 t /日(1炉) 粗大ごみ処理施設 19 t /日 資源ごみ貯留ヤード
都市計画決定の範囲	3.5ha

その他、別紙「**次期ごみ処理施設整備基本設計 [概要版] ~都市計画審議会用~**」のとおり

※ハイブリッド方式とはメタン発酵施設と焼却施設を併設する処理方式で、生ごみなどから発生させたメタンガスで行う発電と焼却施設での蒸気発電により、大きな発電を期待することができ、二酸化炭素の削減効果が大きく、市が目指す「カーボンニュートラル」や「循環型社会」の形成に寄与する施設となると判断し採用しました。

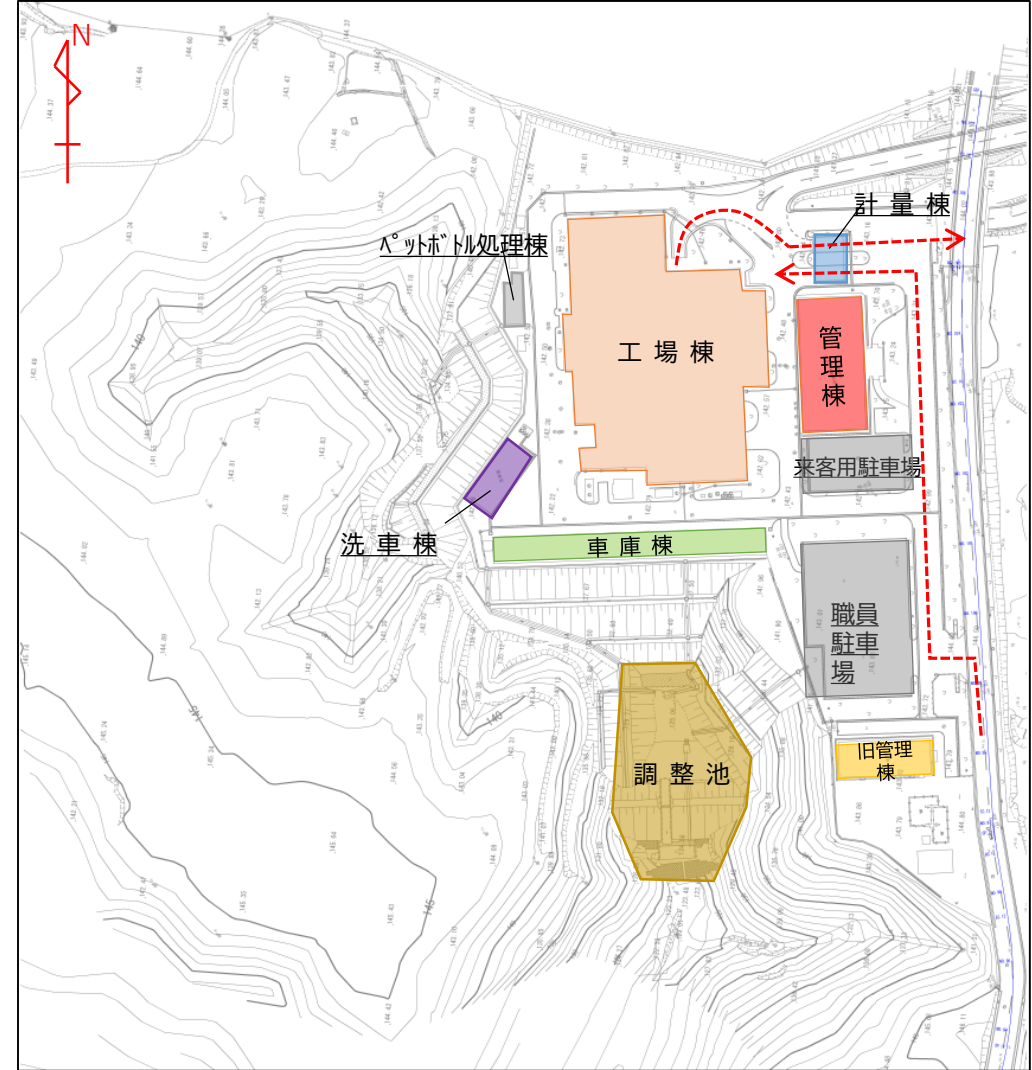
# 次期ごみ処理施設の進捗状況について(2)

## 2 施設全体配置図

【次期ごみ処理施設（案）】



【現施設】



# 次期ごみ処理施設の進捗状況について(3)

## 3 基本設計策定後の方針等

### (1)概算事業費

令和4年3月に策定した基本計画において概算事業費は約164億円(税込み)だったが、原材料費や建設費等の高騰を受け、今回の基本設計では約255億円(税込み)となった。

### (2) 今後の予定

事業費を抑制するため、コスト縮減に向けた検討をおこなう。

- ・基本設計で整理した事項について調査
- ・プラントメーカーからヒアリングの実施
- ・事業費と合わせてLCC縮減も検討

※LCCとは、Life Cycle Costの略。施設の建設、稼働、廃止されるまでに費やされる建設費、運営管理費、解体費などの生涯費用の総合計

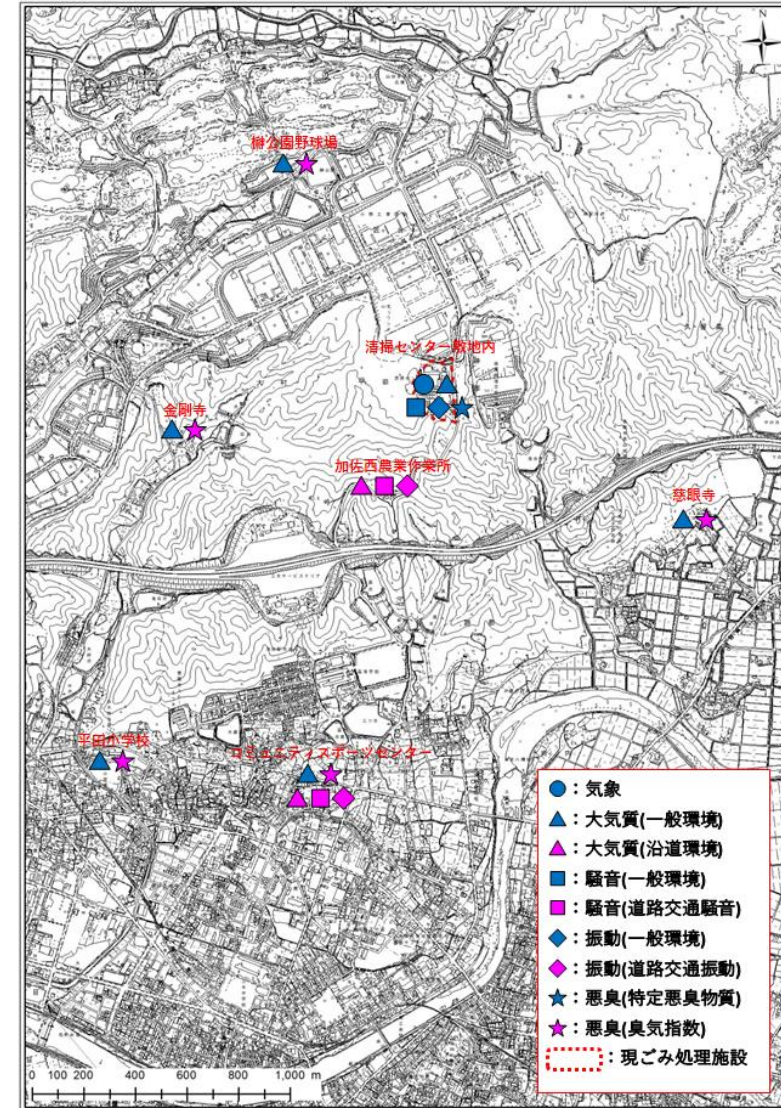
# 生活環境影響調査について

## 4 生活環境影響調査

- ・ ごみ処理施設の整備にあたり法律で義務付けられている調査
- ・ 周辺地域の生活環境に及ぼす影響を調査・予測し、対策の実施
- ・ 調査は四季調査で行い、測定項目は気象及び大気質、騒音、振動、悪臭

## 5 進捗状況について

- ・ 現在、現況調査自体は終了しており、異常は認められない。
- ・ 最終の報告については、次回以降の都市計画審議会にて報告予定



調査箇所位置図